

BOB会「蕎麦愛好会」9月例会報告

蕎麦愛好会9月例会は、9/25（水）宮城県丸森町筆甫にある「手打そば清流庵」を訪ねました。10年前に閉店した「清流庵」を、地元の方々と改装を行って2023年7月にオープンした新しい蕎麦屋です。ご主人は、東京消防庁に勤めていた元消防士で、東京の「藪蕎麦」で修業を積んで、退職を前にUターンして開店にこぎつけたようです。また、従業員は元清流庵で働いていた方々を雇用して、筆甫地区の活性化にも貢献されています。

今日は、仙台から車2台に分乗して、9時仙台駅前を出発、名取愛島、岩沼経由で角田から丸森を目指しました。角田までは1時間10分程でしたが、そこから丸森の街をとおり相馬方面に向かって行くと不動尊公園キャンプ場が見えてきます。そこからは、いよいよ車がすれ違えないような細い山道を分け入っていく事10分、筆甫の清流庵に到着しました。

ここで、福島から参加の鈴木正利さん、亘理から参加の高橋健治さんと合流して、開店10分前ですが8名で蕎麦屋さんに入ります。お店は古民家を改装した建物で、4人用テーブル席が4つと、カウンター席が8席ほどですが、裏側には清流を望められる落ち着いた雰囲気のお店です。店内には、ご主人の趣味と思われる、ロードバイク（ツーリング自転車）が2台、それに大きなアンプとステレオセット（しかも真空管）、バードウォッチング用の望遠鏡や、カメラの三脚、そして壁にはご自身で撮影したと思われる「カワセミ」の写真が10枚程と、ご主人の趣味の広さが想像できます。

会費の集金が終わって11時から月例会を始めました。始めに事務局から支部活動の報告として、9月16日開催された支部創立55周年記念祝賀会・作品展の様子や、10月4日に開催される支部懇話会（サロン形式）のご案内、そして現在アンケート調査中のメルマガ会員向けの紙媒体の要・不要の回答状況（現在40名が不要の回答）を報告しました。また、この後の3月までの月例会の計画についてもお知らせして、いよいよ蕎麦を待ちます。

今日は、ご主人がお一人で調理・接客をされていたので、4名ずつ2回に分けてお出ししますと言われていた通り、まずは4名分が運ばれてきました。注文していたのは「天せいろそば」で、皿に盛られた極細のお蕎麦と山盛りになった天ぷら（海老・キス



の他には、特別に手に入ったというインゲンを含めて13品)、だし巻き卵、香の物、デザート of ゼリー、と盛り沢山の料理でした。最初の4人が食べ終わる頃には、残りの4人分が運ばれてきました。



今日のお蕎麦は、山形県産の“最上早生”を外二で打った極細のそばで、細いのに歯ごたえがしっかりしとした上品なお蕎麦で、皆さん大変満足されていました。また、天ぷらも食べきれなくて、お土産用の容器をいただいて持ち帰る方が大半でした。最後に、濃厚な蕎麦湯をいただいて、デザートを食べていると、12時頃には他のお客様が4名入ってきましたので、私たちはお支払いを済ませて、次の丸森の「齋理屋敷」に向かう事にしました。少し雨が強く

くなって来ましたが、玄関の軒先の下で集合写真を撮ってから車に乗り込みました。



もと来た道を引き返して30分「齋理屋敷」に到着です。2年前の福島沖地震によって被害を受けてから改修工事が続けられていましたが、8月にリニューアルオープンしたものです。メインの展示場では、今日から「大槻幸子創作和紙ドール展」が開催中で、ご本人から直接和紙人形の説明を聞く事が出来ました。その他沢山の蔵や洋館（展示館）も見ながら、最後にお土産コーナーに立ち寄って、入れ立ての美味しい珈琲を飲みながら受

付係りの皆さんとお話をして、齋理屋敷を後にしました。この後、「道の駅角田」に立ち寄って買い物を楽しんでから解散としました。皆さんお疲れ様でした。



【参加者】 8名＜敬称略＞
渡辺武郎、佐藤茂雄、齊藤 修、
高橋健治、鈴木正利、鹿野美枝子、
石森 隆、畠山 廣

※次回の例会は、11月18日（月）七ヶ宿「農民そばや芭蕉庵」を訪ねます。

【BOB蕎麦愛好会事務局】畠山 廣 携帯 080-5578-5920
〒981-3213 仙台市泉区南中山 3-19-22